

参考資料 地域保健・健康増進事業報告との対照表

胃がん精密検査依頼書 兼 結果報告書～抜粋

診断区分	i. 異常なし	1. 異常なし	診断日 (診断区分を決定した日付)
	ii. 胃部の癌腫 ^{※ア}	2. 粘膜内がん (T1a: 癌が粘膜にとどまるもの) 3. 粘膜下層がん (T1b: 癌の浸潤が粘膜下組織にとどまるもの) 4. 進行がん (T2以上: 癌の浸潤が粘膜下組織またはそれを越えているもの)	平成 年 月 日
	※ア. 転移性の腫瘍であることが明らかでない場合はiiに分類してください		病変部位 病変(内視鏡写真)のスケッチ をお願いします
	iii. 胃の転移性腫瘍	5. 胃部以外の腫瘍からの胃部への転移 (原発臓器:)	
	iv. 胃部の癌腫以外の腫瘍等	6. 悪性の腫瘍 ^{※イ} () 7. 良性の腫瘍 ^{※ウ} () 8. その他 ()	[]
	※イ. 胃部に発生したカルチノイド、リンパ腫等はiv.6に分類してください ※ウ. 胃部に発生したGIST等はiv.8に分類してください		
	v. がんの疑いまたは未確定	9. がんの疑いまたは未確定 ^{※エ}	[]
※エ. 精密検査受診者のうち、検査結果が胃がんの疑いのある者、精密検査が継続中で検査結果が確定していない者はv.9に分類してください 下の欄の「その後の処置」が「4.治療済み」の場合はv.9に分類せず最終診断区分をお書きください			
vi. i～v以外の異常 ^{※オ}	10. i～v以外で良性病変 ^{※カ} 11. i～v以外で胃部以外の悪性腫瘍 ^{※キ} () 12. i～v以外でその他 ()		
※オ. i～vのいずれにもあてはまらない場合のみviに分類してください(i～vのいずれかにあてはまる場合の記入は不要です) ※カ. 胃に発生した良性子上皮性腫瘍(腺腫)、ポリープ、潰瘍、胃炎などはvi.10に分類してください ※キ. 精密検査にて胃部には病変がない悪性腫瘍はvi.11に分類してください(例:十二指腸がん、食道がん、肝臓がん)			

地域保健・健康増進事業報告様式(平成29年度以降)

精密検査受診の有無別人数					
精密検査受診者					
異常認めず	異常を認める				
	胃がんであった者 (転移性を含まない)	胃がんのうち 早期がん	早期がんのうち 粘膜内がん	胃がんの疑いのある者 又は未確定	胃がん以外の疾患であった者 (転移性の胃がんを含む)
i.1 vi.11～12	ii.2～4	ii.2～3	ii.2	v.9	iii.5 iv.6～8 vi.10